

貸借対照表

2022年12月31日現在

クラレトラベル・サービス株式会社

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
I. 流動資産	644,052,732	I. 流動負債	102,460,439
現金及び預金	7,894,479	買掛金	81,220,397
売掛金	53,933,856	リース債務	1,231,458
貯蔵品	82,220	未払金	5,165,844
未収入金	10,977,772	未払費用	4,835,454
立替金	481,952	未払法人税等	418,100
預け金	570,258,553	未払消費税等	542,177
未収還付法人税	293,800	預り金	47,009
未収還付事業税	152,100	賞与引当金	9,000,000
貸倒引当金	▲ 22,000		
II. 固定資産	22,569,852	II. 固定負債	12,845,084
1. 有形固定資産	2,944,213	リース債務	1,979,250
工具器具備品	16,213	退職給付引当金	10,865,834
リース資産	2,928,000		
2. 無形固定資産	1,462,639		
電話加入権	138,306		
ソフトウェア	1,324,333		
3. 投資その他の資産	18,163,000		
差入保証金	11,000,000		
繰延税金資産	7,163,000		
		負債の部合計	115,305,523
		【純資産の部】	
		I. 株主資本	551,317,061
		1. 資本金	20,000,000
		2. 利益剰余金	531,317,061
		(1) 利益準備金	5,000,000
		(2) その他利益剰余金	526,317,061
		繰越利益剰余金	526,317,061
		(うち当期純利益)	(25,543,038)
		純資産の部合計	551,317,061
資産の部合計	666,622,584	負債及び純資産の部合計	666,622,584

個別注記表

2022年1月1日～2022年12月31日

クラレトラベル・サービス株式会社

【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品 …………… 個別原価法

2. 固定資産の減価償却の方法
 - (1)有形固定資産(リース資産を除く)
工具器具備品 …………… 定率法
なお、取得価額が10万円以上20万円未満の資産については、3年間で均等償却する方法を採用している。

 - (2)無形固定資産
ソフトウェア …………… 定額法

 - (3)リース資産
所有権移転外ファイナンスリース取引に係る資産 …… リース期間を耐用年数とする定額法

3. 引当金の計上基準
 - (1)貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により計上している。
 - (2)賞与引当金
従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、賞与支給見込額のうち、当期負担分を計上している。
 - (3)退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付に係る自己都合要支給額に基づき計上している。

4. 収益及び費用の計上基準
当社においては、主として旅行代理店事業と保険代理店事業を行っている。
これら事業において、当社と顧客との契約から生じる収益に関する主な履行義務の内容、及び当該履行義務を充足する通常の時点(収益を認識する時点)は以下の通りである。
 - ① 旅行代理店事業
旅行者の委託により、代理、斡旋又は取次をすること等により旅行者が運送・宿泊機関等の提供する運送、宿泊その他の旅行に関するサービスの提供を受けることができるように手配することが履行義務であり、手配が完了した時点において代理人取引として純額で収益を認識している。
 - ② 保険代理店事業
保険会社との保険代理店委託契約に基づき、保険契約の締結とその媒介及び付帯業務を行っている。
通常、保険契約が有効となった時点で主な履行義務が充足されることから、当該履行義務を充足した時点で顧客との契約から見込まれる代理店手数料の金額を収益として認識している。

5. 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

以上